

【訂正とお詫び】

二〇一五年十二月号「短歌欄入選203」のなかで、作者名に誤りがありました。訂正するとともにお詫び申し上げます。正しくは、左記の通りです。

小さくも手足に五本指がある生きるとは夢のようだ  
触れようとすただけで痛むその傷を心につつむ届くの  
ならば  
(京都 八尋 優子)

泥沼からひとつ泡あがり誰もが生きる呼吸あり溜息あり  
耳の奥に突然にオルゴールの鳴る洗われるような憧憬  
あり  
(宮崎 上加世田穰)